



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月28日

上場会社名 株式会社東京一番フーズ 上場取引所 東
 コード番号 3067 URL
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 大地
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 井野 一三美 (TEL) 03-5363-2132
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (金融機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	2,514	6.3	627	7.0	635	6.1	366	9.1
26年9月期第2四半期	2,365	1.3	586	9.3	599	9.8	336	△3.7

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 366百万円(9.1%) 26年9月期第2四半期 336百万円(△3.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	42.88	41.83
26年9月期第2四半期	39.32	38.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第2四半期	2,519	1,903	74.5
26年9月期	1,945	1,533	77.6

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 1,876百万円 26年9月期 1,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,868	9.6	377	26.9	390	21.7	243	16.4	28.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、 除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期2Q	8,640,500株	26年9月期	8,640,500株
② 期末自己株式数	27年9月期2Q	87,564株	26年9月期	87,564株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期2Q	8,552,936株	26年9月期2Q	8,550,942株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結決算営業成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による景気対策や日銀の金融緩和を背景に実質GDP成長率が3四半期ぶりにプラスに転じるなど、回復が見られたものの、消費税引き上げ以降個人消費の回復は遅れており、景気の先行きは依然として不透明な状況となりました。

外食産業においては、消費税の引き上げによる個人消費の低迷、人件費の高騰など、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。一方、東京オリンピック開催が決定したことに併せて、「和食」がユネスコ文化遺産に登録される等、日本食に対する注目が集まってきており、外国人旅行者の需要に対する期待感が高まってきております。

こうした状況のなか、当社グループは、総合水産企業として六次産業化の拡大を推進してまいりました。上記に述べた環境下での事業展開の結果、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高2,514百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益627百万円（前年同期比7.0%増）、経常利益635百万円（前年同期比6.1%増）、四半期純利益366百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、当社グループにおいては、飲食事業を主たる事業としており、その他に外販事業を行っております。外販事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、それぞれ僅少でありますので、報告セグメントは飲食事業のみとなっておりますが、投資判断に資するために記載しております。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来の「水産物の販売」は「外販事業」にセグメント名称を変更しております。セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

①飲食事業

第3次産業としての飲食事業においては、平成26年11月に吉祥寺に「魚王KUNI」と「泳ぎとらふぐ料理専門店 とらふぐ亭」の複合店舗をオープンし、順調に推移しております。主力業態の「泳ぎとらふぐ料理専門店 とらふぐ亭」においては、2月9日の「とらふぐ亭の日」に合わせて開催された「とらふぐ祭り」が好調に推移し、順調に売り上げを伸ばしております。「おいしい寿司と活魚料理 魚の飯」、「魚王KUNI」等の売上は、堅調に推移しました。また、天然ふぐ料理を3,000円台の価格帯で満喫できる「ふぐよし総本店」も順調に業績を伸ばしております。

今後も高品質な食材をお値打ち感のある価格で提供する方針を維持しつつ、出店エリアを吟味し、積極的に店舗展開を図ってまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における飲食事業は、売上高2,312百万円（前期比1.2%増）となりました。

②外販事業

第2次産業においては、宅配用の加工製品を外注から自社加工場での内製にしたことで商品の多様性が広がった結果、平成27年2月にとらふぐ亭宅配オリジナル商品をテレビショッピングQVCチャンネルに出品し、好評をいただいたことに加え、平成24年10月に東京都のふぐ取扱規制が緩和されたことにより、当社外販事業の主力商品である身欠きふぐ（除毒処理済ふぐ）の売上が好調に推移しました。

第1次産業においては、自社クロマグロの販売が軌道に乗ったことで売上高が好調に伸びております。また、今後は株式会社社食縁を通じて日本の高品質な養殖魚を海外市場へ販売していくことを目的として、平成28年9月以降の出荷に向けてブリ等の養殖事業を拡充していく方針であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における外販事業は、売上高201百万円（前期比154.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期末の流動資産は、1,786百万円（前期末比42.6%増）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加560百万円及び売掛金の増加37百万円によるものです。

(固定資産)

当第2四半期末の固定資産は、732百万円（同5.8%増）となりました。主な要因は、建物及び構築物の取得による増加44百万円、工具、器具及び備品の取得による増加12百万円及び減価償却費の計上に伴う減少14百万円によるものです。

(流動負債)

当第2四半期末の流動負債は、601百万円（同51.6%増）となりました。主な要因は、未払法人税等の増加159百万円及び未払消費税の増加41百万円によるものです。

(固定負債)

当第2四半期末の固定負債は、14百万円（同6.5%減）となりました。主な要因は、長期前受収益の減少1百万円によるものです。

(純資産)

当第2四半期末の純資産は、1,903百万円（同24.1%増）となりました。主な要因は、利益剰余金の増加366百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年11月4日発表の「平成26年9月期 決算短信」に記載しております業績予想から変更はありません。

なお、当社グループにおいては通常の営業の形態として、第1四半期及び第2四半期におけるふぐの需要が大きいため、第1四半期及び第2四半期と第3四半期及び第4四半期の業績に著しい季節的変動があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	947,128	1,507,373
売掛金	66,962	104,608
仕掛品	87,829	48,884
原材料	38,892	43,584
繰延税金資産	22,583	22,115
その他	89,714	60,182
流動資産合計	1,253,109	1,786,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,238,597	1,282,642
減価償却累計額	△1,097,115	△1,106,678
建物及び構築物(純額)	141,481	175,964
機械装置及び運搬具	17,906	18,450
減価償却累計額	△16,407	△16,786
機械装置及び運搬具(純額)	1,498	1,664
工具、器具及び備品	293,716	306,700
減価償却累計額	△278,218	△282,557
工具、器具及び備品(純額)	15,497	24,143
土地	147,365	147,365
建設仮勘定	1,691	1,691
有形固定資産合計	307,534	350,827
無形固定資産		
ソフトウェア	914	650
無形固定資産合計	914	650
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
敷金及び保証金	341,703	343,414
破産更生債権等	21,478	21,478
貸倒引当金	△21,478	△21,478
その他	22,567	18,090
投資その他の資産合計	384,270	381,504
固定資産合計	692,719	732,983
資産合計	1,945,828	2,519,732

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,053	63,743
未払金	124,228	109,527
未払法人税等	116,907	276,233
賞与引当金	17,300	13,910
その他	81,392	138,302
流動負債合計	396,882	601,718
固定負債		
その他	15,249	14,255
固定負債合計	15,249	14,255
負債合計	412,131	615,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	472,806	472,806
資本剰余金	374,806	374,806
利益剰余金	692,759	1,059,551
自己株式	△30,357	△30,357
株主資本合計	1,510,014	1,876,806
新株予約権	23,683	26,952
純資産合計	1,533,697	1,903,758
負債純資産合計	1,945,828	2,519,732

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	2,365,382	2,514,594
売上原価	615,601	718,382
売上総利益	1,749,780	1,796,212
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	290,206	282,400
雑給	153,528	164,398
賞与引当金繰入額	13,240	13,910
広告宣伝費	10,168	11,587
販売促進費	11,678	7,520
地代家賃	213,369	210,209
減価償却費	13,662	14,124
その他	457,728	464,699
販売費及び一般管理費合計	1,163,583	1,168,849
営業利益	586,197	627,362
営業外収益		
受取利息	89	175
協賛金収入	6,964	3,890
受取家賃	2,110	2,326
その他	4,398	2,236
営業外収益合計	13,562	8,628
営業外費用		
支払利息	44	-
その他	222	1
営業外費用合計	266	1
経常利益	599,492	635,989
特別損失		
固定資産除却損	45	-
特別損失合計	45	-
税金等調整前四半期純利益	599,447	635,989
法人税、住民税及び事業税	263,216	268,729
法人税等調整額	-	467
法人税等合計	263,216	269,197
少数株主損益調整前四半期純利益	336,230	366,792
四半期純利益	336,230	366,792

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	336,230	366,792
四半期包括利益	336,230	366,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,230	366,792

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	599,447	635,989
減価償却費	14,705	14,960
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,150	△3,390
受取利息及び受取配当金	△89	△175
支払利息	44	-
固定資産除却損	45	-
売上債権の増減額(△は増加)	△43,233	△37,646
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,999	34,252
仕入債務の増減額(△は減少)	13,104	6,690
その他	33,182	49,386
小計	608,057	700,067
利息及び配当金の受取額	89	175
利息の支払額	△44	-
法人税等の支払額	△25,689	△111,465
営業活動によるキャッシュ・フロー	582,412	588,777
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,758	△57,989
貸付金の回収による収入	860	264
敷金の回収による収入	-	32,432
長期前払費用の取得による支出	△2,569	△1,399
その他	△255	△1,840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,722	△28,532
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5,038	-
自己株式の取得による支出	△18	-
株式の発行による収入	681	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,375	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	573,314	560,244
現金及び現金同等物の期首残高	604,310	887,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,177,624	1,447,373

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)

当社グループにおいては、飲食事業を主たる事業としており、その他に外販事業を行っておりますが、外販事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、それぞれ僅少でありますので、セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)

当社グループにおいては、飲食事業を主たる事業としており、その他に外販事業を行っておりますが、外販事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、それぞれ僅少でありますので、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来の「水産物の販売」は「外販事業」にセグメント名称を変更しております。セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。